

子ども達に「食」の楽しさを HUG米・HUG野菜を育てよう!

お米や野菜を育てて行きながら、「食」に関する知識を持ち選択する事の大切さを学びます。
当たり前のように私たちの食卓に運ばれてくる野菜。じゃあ野菜って、どうやって作られているんだろう!? 今ある当たり前の裏側を知ろう!



山崎さんに収穫前の畑の様子や説明を伺いました。

今回も山崎農園の山崎さんにお世話になります。

HUG米・HUG野菜も今年に入り3シーズン目に突入しました。最近はやや土などに触れる事が少なくなりましたが、この体験を通して少しでも土の感触や匂い、時には土の中から出現する生き物たちを見て触れて感じて欲しいと思います。



お世話になった藤田さん(左)と山崎さん(右)

庄地区無農薬研究会 山崎農園
<http://yuuki-mai.com/>



キャベツ、ブロッコリー、春大根を植える。

土を耕したら、匂いが少ない良質の鶏糞肥料を撒いて土を反転させます。

肥料を撒いて土を反転。

肥料を入れた容器を首からぶらさげ、畑にまんべんなくバラバラと撒いていきます。良い野菜が育つための大切な肥やしです。肥料を撒いた後は土を混ぜる「反転」を行い、種や苗を植える場所を「畝立」します。



反転と畝立は少し難しいので、ここは藤田さんにお任せします。



種の大きさは、ほんの2ミリほど。あまりの種の小ささにみんな驚きの声。その上にやさしく土をかけてやります。



「定植」(苗を植える)と種まき。盛り上がった畝に穴をあけてキャベツとブロッコリーの苗を植えます。苗の周りに土をかけ、しっかり押さえます。手で土を握っていると、ミミズが出てきました。土が元気な証拠です。次はクワの柄で土に小さな穴をあけて、春大根の種撒きです。一つの穴に小さなダイコンの種を2粒撒きます。



みんなで作った3シーズン目の畑。

お世話になった山崎さんと藤田さんにご挨拶。半日での作業でしたが、楽しみながら畑の作り方を教えて下さりありがとうございました。

終わりの挨拶。

ジョウロで自分が植えた苗や種に、それぞれ水をやります。

最後に水やり。



たっぷり水やり、2.3ヶ月後の収穫を楽しみに待ちます。



ミミズさんやカエルさん達も出てきたよ!!



今回ご参加いただいたHUGキッズの子どもたち。

種を撒くのが楽しかった。

苗を植えたところが楽しかった。

水やりところが楽しかった。

カエルが出てきたのも楽しかった。

安田 莉子 (7歳)

黒住 駿太郎 (3歳)

黒住 はな乃 (5歳)

西口 楓雅 (6歳)

江原 瑠南 (6歳)

中村 衣吹 (2歳)

中村 優心 (5歳)

藤井 耀大 (2歳)

藤井 愛己 (5歳)

泉浦 宇美 (6歳)

三宅 彩花 (6歳)

安田 恋湖 (3歳)



ホウレンソウ、レタス、ネギの収穫。



ほら、見て見て!きれいに抜けたよ!!

根元をしっかり掴んで根っこごとひっぱります。しっかり根付いているから力が必要です。

今回収穫した野菜は、第2期のHUGキッズ定植や種まきをした野菜です。みんな一生懸命に根っこを持ってコネコネしながら引抜いています。この野菜は、農薬や化学肥料を使っていないので安心して食べられます。

それぞれ収穫した物は、自分たちで持ち帰る事が出来るのでみんな大喜び。



畑を耕す。



畑全体の草抜き。

草抜きをした畑を今度は耕します。

耕す(たがやす)とは、土を柔らかくすることなんです。今は耕耘機という機械を使って耕しますが、今回は昔ながらの「鋤(くわ)」を使った耕しを少しかだけ体験してみました。みんなお母さんやお父さんと一緒にチャレンジしますが、これがなかなかの重労働。機械が無いときは、これを人の力だけでやってたなんて考えただけで凄いです。



収穫が終わると、周りにある雑草を抜いていきます。次に植える野菜の為に、畑を綺麗にしていきます。お母さんやお父さんにも協力して頂きました。